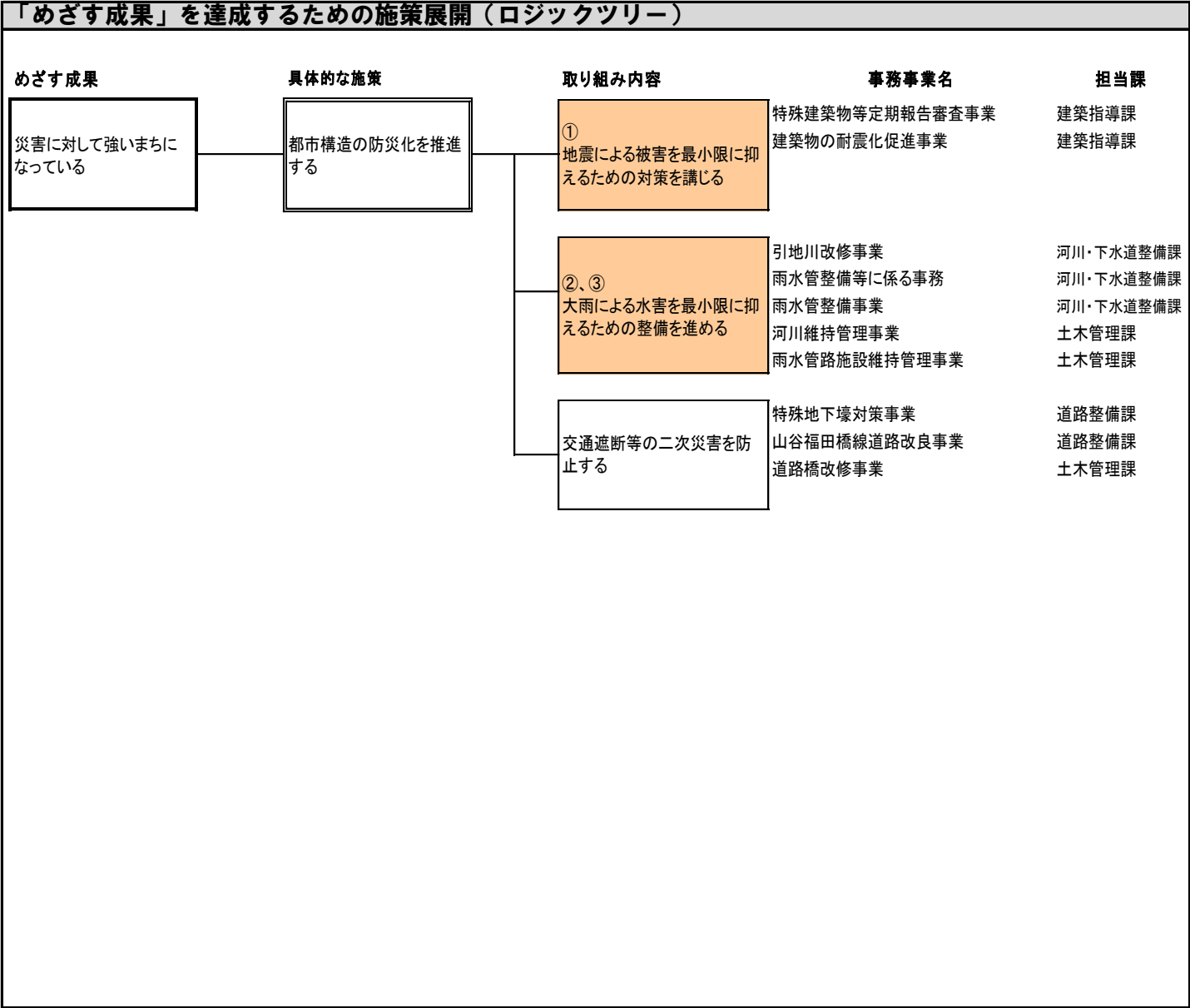


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
3－2－2 災害に対して強いまちになっている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち
	個別目標	災害への対応力を高める
	めざす成果	災害に対して強いまちになっている 地震や大雨が発生しても、大きな被害につながらないような施設整備などの対策が講じられています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
防災上重要な公共建築物の耐震改修率		準用河川引地川の改修率		雨水整備率	
計画策定時 現状値	92. 0%	計画策定時 現状値	57. 0%	計画策定時 現状値	66. 5%
実績値 （H21）	92. 6%	実績値 （H21）	62. 7%	実績値 （H21）	67. 5%
中間目標値 （H23）	94. 3%	中間目標値 （H23）	66. 4%	中間目標値 （H23）	68. 0%
目標値 （H25）	96. 0%	目標値 （H25）	68. 0%	目標値 （H25）	69. 0%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【都市構造の防災化を推進する】 ・無料簡易診断、精密診断助成、耐震改修工事助成、家具転倒防止器具取付支援を実施し、簡易診断については、概ね目標件数に達しましたが、精密診断は、制度の周知不足、危機感の希薄さなどから目標件数達成には至りませんでした。また、耐震改修については、補助件数拡大、固定資産税等の減免措置など取り組みやすい環境を整えましたが、多額の自己負担が伴うため、補助件数が少なくなっています。 ・集中豪雨に伴う道路冠水等、被害頻度の高い区域の雨水管整備を進めるとともに、準用河川引地川の一次改修断面の整備を進め氾濫防止を図りました。 ・鉄道や緊急輸送路に架かる橋を優先して耐震補強工事を行い、災害時の安全確保を図りました。

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・様々な媒体を活用した広報活動に加え、耐震化促進協議会との協働により一層の啓発・誘導に取組み、木造住宅の耐震化をより一層促進していきます。また、精密診断の実質無料化、固定資産税等の減免措置については、緊急経済対策として3年間（H21～H23年度）限定で実施していますが、その効果等を検証し、H24年度以降の対応を判断していきます。 ・現状の道路冠水箇所を重点に、効率的な雨水整備の実施が必要です。 ・引き続き、鉄道や緊急輸送路に架かる橋を優先しながら耐震補強工事を行い、災害時の安全確保を図ります。
-------------------------	---

今後の展開方針		
新規事業の立案	・平成24年度に補助金要望のうえ、地籍調査事業を行います。	（該当する事務事業） （仮）地籍調査事業
既存事業の拡充		（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	・道路冠水の頻度が高い区域を調査し、効率的な整備を実施します。	（該当する事務事業） 雨水管整備事業
その他見直し	・耐震化促進協議会と連携して、自治会単位の個別説明会や防災訓練などでの広報啓発活動を増やし、制度の普及活動の充実を図ります。 ・境橋付近の老朽化した護岸の1次改修工事を実施し、橋梁については、2次改修工事の実施にあわせて行います。	（該当する事務事業） 耐震化促進事業 引地川改修事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	* 平成23年度の審議予定となっています。